

# 丹羽消防署

119番

## 9月1日は「防災の日」

台風や地震等の災害についての認識を深め、それらの災害に対処する心構えや防災に対して見つめ直す機会を設けるために、昭和35年に内閣の閣議了解により制定されました。また、昭和57年からは、9月1日の「防災の日」を含む1週間が「防災週間」と定められています。

9月1日という日付は、大正12年9月1日に発生し、10万人以上の死者・行方不明者を出した「関東大震災」に由来しています。

### ◆「自らの生命は自らが守る」

平成23年3月11日、日本観測史上最大となるM9.0の東北地方太平洋沖地震が発生し、未曾有の大災害をもたらしました。この地方でも近い将来、東海地震、南海地震の発生が予想されています。地震に備えるために、「自らの生命は自らが守る」という「自助」や、まちぐるみで「自分たちのまちは自分たちで守る」という「共助」の意識を向上させることが、より重要になってきています。防災訓練についても工夫をして無関心層を取り込むことが必要になっていると言えます。家庭や地域ぐるみで大規模災害に備えましょう。

### ◆地震 そのとき 10のポイント

#### 1. 地震だ！ まず身の安全

揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、身の安全を最優先に行動しましょう。



#### 2. 落ちついて 火の元確認 初期消火

火を使っている時は、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をしましょう。

#### 3. あわてた行動 けがのもと

屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意しましょう。屋外でも瓦や看板などが落ちてくるので、飛び出さないようにしましょう。

#### 4. 窓や戸を開け 出口を確保

揺れがおさまった時に、避難ができるよう出口を確保しましょう。

#### 5. 門や塀には 近寄らない

屋外で揺れを感じたら、ブロック塀などには近寄らないようにしましょう。

#### 6. 確かな避難

地域に大規模な火災の危険がせまり、身の危険を感じたら、一時集合場所や避難場所に避難しましょう。

#### 7. 正しい情報 確かな行動

ラジオやテレビ、消防署、行政などから正しい情報を得ましょう。

#### 8. 確かめ合おう わが家の安全 隣の安否

わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認しましょう。

#### 9. 協力し合って救出・救護

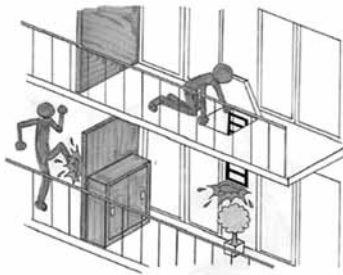
倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護しましょう。

#### 10. 避難の前に安全確認 電気・ガス

避難が必要な時には、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難しましょう。

### ◆火災・地震に備えた避難経路の確保を！

共同住宅等において、ベランダの蹴破り戸（隔て板）や避難ハッチの上、避難はしごが下りてくる場所に物を置いていませんか？ベランダの避難経路を利用するのは、自分たちだけではないので、普段から、物や観葉植物等でふさぐことのないよう心掛けましょう。



#### ▼問い合わせ

丹羽広域事務組合  
消防本部 消防課  
☎ (95) 5158

## 丹羽消防署で

### 上級救命講習会（8時間）を開催

成人から乳児に対する心肺蘇生法、ケガの手当や安全に傷病者を運ぶ方法などをお教えます。普通救命講習会を受けた方も、まだ受けていない方も受講できます。

興味のある方は、是非お問い合わせください。

#### ▼日時 9月16日（土）

午前9時～午後5時45分  
（昼休憩45分を含む）

#### ▼場所 丹羽消防署 本署3階会議室

#### ▼対象 大口町・扶桑町に在住、または在勤の方

#### ▼定員 12名

（応募者多数の場合は、署内選考にて決定させていただきます。）

#### ▼受講料 無料

（ただし、昼食は各自で準備してください。）

#### ▼申込み・問い合わせ

丹羽消防署 ☎ (95) 5151  
大口出張所 ☎ (95) 0119  
扶桑出張所 ☎ (92) 3100